

# 2019年度 認定 NPO 法人キーパーソン 21 事業計画案

## 【キーパーソン 21 の活動目的】

キーパーソン 21 は、主に小中学生から大学生世代に対して、様々な社会人との交流の場を作り、自分の将来について考えるきっかけを持つことで、一人ひとりが視野を広げ、社会へ旅立つことの自覚と自立心を醸成していけるよう寄与することを団体の目的としています。また、すべての世代が、わくわくしながら主体的に社会参加することを支援し、一人ひとりを最大限に活かす社会を創造することを目指します。

## 【2019年度目標】

わくわくエンジン<sup>いしづえ</sup>®をあたり前の社会にするために、中期事業計画で定めた6つの事業領域それぞれで礎となる事業モデルをつくり、あらゆる領域・地域で事業を展開できるようにするための体制づくりと広報手段を整える。

また、キーパーソン 21 の考えや活動を全国に有効かつ効率的に展開するため、組織体制の整備と業務管理のシステムづくりを行います。

## 【事業内容】

### I 特定非営利活動に係る事業

#### 1. キャリアプログラムの開発、展開事業

##### 1) プログラム開発事業

日時：通年

場所：キーパーソン 21 武蔵小杉拠点

受益対象者：キーパーソン 21 プログラム受講者、活用するわくわくナビゲーター、パートナー契約に基づく団体のプログラム実施担当者。

- **実施対象にあわせたプログラムの開発・調整と事業モデルの確立**  
「親・家庭」、「教員・学校」、「大学生・大学」、「企業人・企業」、「まちづくり」、「生きづらさ」の6つの事業領域それぞれが抱える問題に対応したプログラムの開発や調整（モディフィケーション）を行うとともに、全国各地の現場での指針となる事業モデルを作る。
- **普及させやすいプログラムの設計と開発**  
プログラム実施の環境、実施スタッフ数、対象者数、実施時間枠などに対応したプログラムの開発・設計を行い、更に運用について地域担当者と情報を共有する。
- **プログラム実施の質を確保するための仕組み構築と補助資料の整備**  
担当者や現場の差異に因らず均質なプログラム実施を遂行するため、実施マニュアルの充実を図る。
  - ◆ 既存マニュアルの改訂・整備
  - ◆ 新規マニュアル、運用規程の整備
  - ◆ 教員・職員用ワークシート作成
  - ◆ プログラム実施のプロジェクトマネージャー養成のための講座テキスト作成
  - ◆ 講師養成のマニュアルの作成

- ◆ 関係者の定期的教育

## 2) プログラム展開事業

### ● 川崎事務局によるプログラム実施

- ◆ 協賛企業、学校、キーパーソン 21 会員の連携による「企業の子ども応援プロジェクト」として、川崎市内の公立小・中・高校でのモデル事業づくりを含め、約 10 校でプログラムを実施する。子ども約 2000 名を想定。連携企業としてカシオ計算機、スカパーJSAT、WOWOW、NTT データシステム技術、エヌアセット、ランスタッド他を予定している。企業の社員向けと実施校の教員向けに事前研修を行う。
- ◆ 日本コカ・コーラ株式会社との連携で「5by20 女子起業！わくわくプロジェクト」を継続実施する。およそ 12 校 1,200 人の高校生女子・大学生女子を対象とする。北海道、新潟、神奈川、滋賀、京都、沖縄において開催予定。
- ◆ 親子、家庭向けの事業モデルの一つとして  
学校外において親子向けにプログラムを行う  
親子向けに個別対応のプログラム solo-solo を行う
- ◆ P T A との事業モデルの一つとして  
東京有明地域との協働によりプログラムを行う。
- ◆ 大学での事業モデルの一つとして  
学校法人自由学園最高学部との協働によりプログラムを行う。
- ◆ 行政との事業モデルの一として、島根県江津市との協働によりプログラムを行う。愛媛県佐礼谷地域の小中学校と連携してプログラムを行う。沖縄の行政や大学、居場所づくりの団体と連携してプログラムを行う。

日時：通年

場所：主に実施対象所在地

受益対象者：実施対象のすべての子ども、すべての世代の人。

### ● 地域チームによるプログラム実施

- ◆ 北海道チーム：トークセッションを開催する
- ◆ 新潟チーム：小学校 2 校実施する
- ◆ 北関東チーム：児童養護施設泰山木においてプログラム実施する
- ◆ 湘南チーム 寒川中学校においてプログラム実施する

その他、全国各地における、日本コカ・コーラ株式会社「5by20 女子起業！わくわくプロジェクト」実施や自由学園における実施など川崎事務局と協力体制をとる。「大学」「まちづくり」など川崎事務局主導のプログラム実施などにおいて地域チームとの協働を探る。

日時：通年

場所：主に実施対象所在地

受益対象者：地域チームが実施対象とするすべての子ども、すべての世代の人。

### ● パートナーによるプログラム実施

くさつ未来プロジェクト（略称：KMP）、金沢大学、クリップアカデミー、千葉生活クラブなどのパートナーによるプログラム実施を年度内に計 6 回程度想定している。パートナーそれぞれの特色、領域を活かし、一つひとつが有効な事業モデルとなるよう連携する。

日時：通年

場所：主にパートナー所在地周辺

受益対象者：パートナーが事業対象とするすべての子ども、すべての世代の人。

## 2. キャリアプログラムの普及啓発事業

### 1) わくわくナビゲーターの養成

キーパーソン 21 の考えや活動の普及を目的として「わくわくナビゲーター養成講座」を開催する。プログラムは「すきなもののビンゴ&お仕事マップ」「個別アクションプログラム」「コミュニケーションゲーム」。前二者には「引きだしトレーニング」の組み合わせも行う。

日時：前期 8 回、後期 7 回

場所：川崎市内および全国各地

開催回数：年 15 回程度

### 2) 講師の養成

全国へのプログラム実施が容易となるよう、「わくわくナビゲーター養成講座」講師の養成を図る。

日時：1～3 月予定

開催場所：川崎市内を予定

開催回数：年 1 回

### 3) 地域チームの形成サポートとパートナー連携の促進

日時：通年

場所：適宜

受益対象者：地域チーム、パートナー団体

#### ● 地域チーム形成のサポート

地域の課題を解決しようとする会員が集まり、主体的に活動しようとする動きに対し、わくナビの養成、広報による支援、情報の収集と提供、ノウハウの伝授などを通じ応援していく。

#### ● パートナー連携の促進

地域で課題解決を図っている団体に、プログラムの利用契約に基づくノウハウの提供などを通してキーパーソン 21 の考え方を広く届けることを目指す。

### 4) 広報、コミュニケーション活動

日時：通年

場所：適宜

受益対象者：会員 並びにすべてのステークホルダー

#### ● WEB、SNS の改良・改善

現在のホームページを含むウェブ・システムをより見やすく使いやすいものに改良し、キーパーソン 21 の活動内容を広く確実に届けていく。また、ネット上への動画配信や、セミナー等の可能性を探る。

#### ● マーケティング施策を打つ

WEB、SNSなどで、今届いていない人のところへ届け、よりブランドの確立と拡散の施策の実行を開始する。

#### ● 調査研究、効果測定結果を活用する

事業の 6 つの領域で抱える課題を調査研究、効果測定結果をもって、関係各所に提言の可能性を探る。

- **記事作成**

活動する会員や地域のわくわくイノベーター<sup>®</sup>、教育に詳しい著名人などのインタビュー記事や対談などの読み物記事の作成を行い、認知拡大を行う。

- **イベント**

多くの会員が参集する定時総会の機を利用して、年度の団体としてのキーメッセージを届けるイベントを開催する。活動のモデルを伝え考える機会としてのイベントを開催する。

- **大学、企業、自治体、諸団体との連携**

子どもたちや学生を取り巻く大人や、所属団体、地域行政といったステークホルダーと積極的に連携していく。

協賛企業同士の意見交換や、他団体主催のイベントなどへの出展などしながら、PTA・教育委員会・地元企業・行政などとの協働を図っていく。

- **講演、セミナー、研修、イベントと開催など**

キーパーソン 21 のミッション、ビジョン、バリューを多様な機会と場所で全国に知らしめていく。

- **説明会の開催**

キーパーソン 21 の活動に関心を持つ人々に直接ミッション、ビジョン、バリューを伝え、質問や疑問に答え、共に活動する仲間を増やす。川崎に限らず、全国各地においても地域の会員により開催。川崎においては年間 8 回開催。

### 3. 社会参加支援事業

#### 1) 川崎市学習支援・居場所づくり事業（通称：なかわく）

生活保護家庭で育つ子どもたちを対象とした川崎市の委託事業。2019 年度からは小学 5, 6 年生および一人親家庭で育つ子どもたちをも対象とする。主体的な進路選択のため「個別アクションプログラム」を「面接対策プログラム」として実施。

日時：火曜日～金曜日の週 4 日開催 年 176 回 /2 か所

場所：川崎市中原区内 2 か所

受益対象者：生活保護家庭および一人親家庭で育つ小学 5, 6 年生並びに中学生  
約 50 名、卒業した高校生

#### 2) 学習支援・居場所づくり自主事業（通称：こすわく）

経済的困難や生きづらさを抱える中高生を対象とした自主事業を継続する。状況に応じて、主体的な進路選択のための「個別アクションプログラム」を実施。NKK シームレス鋼管や地元団体や個人からの寄付による。

日時：月曜日 30 回の英会話 と 水曜日 44 回の一般教科への基礎学習支援

場所：川崎市中原区内

受益対象者：英会話 6 名程度、基礎学習 8 名程度

#### 3) 川崎市寺子屋事業

川崎市内の公立小中学校を拠点として放課後開設する川崎市の委託事業。地域の大人と保護者、NPO、行政と連携して実施。「すきなものビンゴ&お仕事マップ」のプログラムを学習支援、体験学習それぞれで行う。

学習支援：低学年向きに数回に分けて行う。

体験学習：低学年の親子向けに行う。

会員でもある映画監督、漫画家と共同で 6 回の連続プログラムとして

開発する。

日時：水曜日 26 回の学習支援 と 土曜日 6 回の体験学習

場所：川崎市立今井小学校

受益対象者：市立今井小学校児童 及びその保護者約 400 名を想定

## 4. 人材育成を目的とした企業、団体等への助言、研修事業

わくわく感を喪失しているのは子ども世代とは限らず、社会人であっても自分を見出せない人は少なくない。キーパーソン 21 のプログラムが人材育成にも有効であるとの声が大きくなりつつある。

日時：適宜

場所：企業、団体指定場所 あるいは キーパーソン 21 わくわくステーションなど

受益対象者：企業・団体 あるいは それらが許諾した人

- **キャリア教育支援、子ども応援企業へのコンサルティング**  
博報堂 H-CAMP への継続的支援
- **教員・行政職員・一般企業社員へのプログラム実施**  
ニーズに合わせてプログラム開発を行う

## 5. 教育に関わる情報収集、調査研究及び発信事業

- **効果測定方法の検討**

事業の 6 つの領域で抱える課題を調査研究、効果測定を行う。結果について関係各署に提言する機会を探る。

日時：適宜

場所：主としてキーパーソン 21 武蔵小杉拠点

受益対象者：キーパーソン 21 プログラム実施に係わるすべてのステークホルダー

## 6. その他目的達成のために必要な事業

- 地域グループの形成による情報発信と共有により、活動する会員の掘り起こしと情報の流通を促進する。  
会員の持つ知見や経験、発想を最大限に活かし主体的に活動ができるよう、サポートしていく。  
大学生応援チーム、ファンドチームの再活性化を支援していく。  
日時：適宜  
場所：主としてキーパーソン 21 武蔵小杉拠点

## II 営利活動に係る事業

### 1. その他の事業

- 1) **寄贈品、グッズなどの物品販売**  
特に活動計画なし。
- 2) **著作、出版物の制作・販売**  
特に活動計画なし。

### 3) 会員のサークル活動支援事業

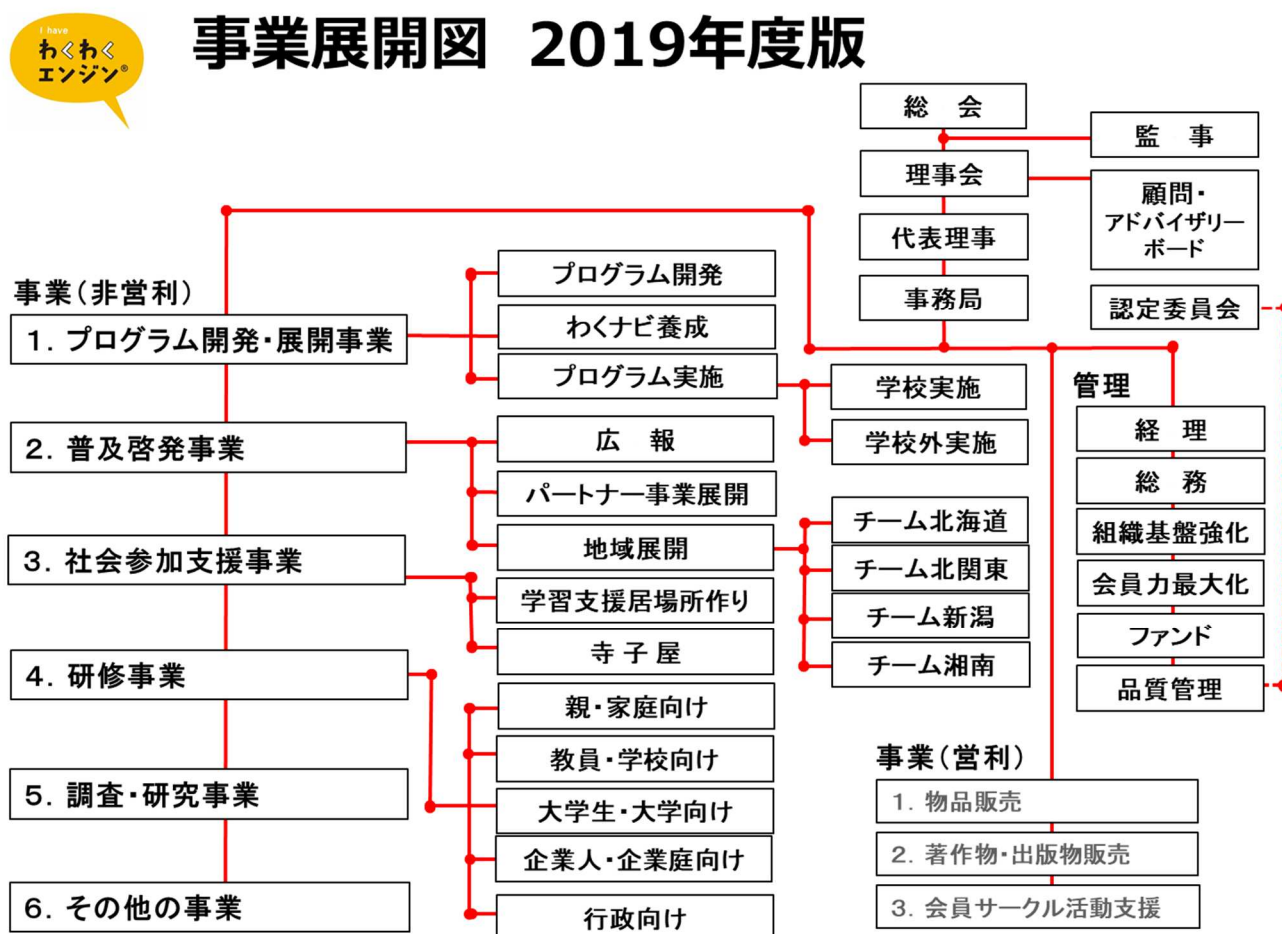
特に活動計画なし。

## 【管理内容】

### 全国普及に対応できるよう組織改革・基盤強化を行う

- 事務局体制の確立と増強
- 業務マニュアルや規定規約の文書の整備と管理
- 経理など一部外部業者への委託
- 理事会主導による財政基盤の強化推進
- 外部識者の知見活用へ向けた整備

## 【事業展開図】





## 2019年度 活動予算書

(特定非営利活動に係る事業会計)

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人キーパーソン21

科 目	予算案	備 考
I 経常収益		
1. 会費 (個人・団体)	4,500,000	法人、個人
2. 寄付・賛助金	2,732,000	法人、個人
3. 事業収入		
① キャリアプログラムの実施事業収益		
実施校謝礼	485,000	中学校、高等学校
企業連携による実施	15,370,000	企業協賛
教員研修	1,200,000	
親子&個人実施	160,000	親子、solo-solo
② キャリアプログラムの普及啓発事業収益		
学校参加研修	3,650,000	わくナビ養成、
講演・イベント	590,000	講演、イベント
地域支援	6,650,000	地域チーム、パートナー
③ 社会参加支援事業収益		
なかわく	13,771,000	川崎市健康福祉局、川崎市こども未来局
寺子屋	996,000	川崎市教育委員会
こすわく	1,030,000	川崎市こども未来局、企業寄付
④ 人材育成に係わる、企業団体への助言、研修事業収益		
企業研修、支援	1,000,000	コンサルティング
⑤ 教育に係わる情報収集、調査研修事業収益	0	
⑥ その他目的達成のために必要な事業	0	
2019年度経常収益計 (A)	52,134,000	

科 目	予算案	備 考
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 給料、謝金	15,050,000	給与、運営担当者、なかわく、こすわく
人件費計	15,050,000	
(2) その他経費		
委託料	9,980,000	
会議費	800,000	会場費、茶菓
旅費交通費	3,000,000	スタッフ出張費
広報費	900,000	リーフレット印刷
通信費	900,000	電話、切手、インターネット、宅配
事務・消耗品	900,000	事務用品、インク、コピー、消耗品他
水道光熱費	60,000	電気、水道(こすわく)
保険料	50,000	学習支援児童保険
家賃	1,284,000	家賃(こすわく)、更新料、火災保険
諸会費	200,000	
手数料	280,000	
雑費	200,000	
その他経費計	18,554,000	
事業費 計	33,604,000	
2 管理費		
(1) 給料、謝金、法定福利等	6,934,000	経理、会員管理、庶務、社会保険料含む
人件費計	6,934,000	
(2) その他経費		
委託料	4,514,000	業務委託、サポートセンター 他
会議費	100,000	事務局、会場、茶菓
旅費交通費	500,000	事務局通勤費
広報費	1,600,000	ホームページ更新
通信費	300,000	電話、切手、インターネット、宅配
事務・消耗品費	900,000	事務用品、インク、コピー、消耗品 他
保険料	1,800,000	リスク保険 15万円/月
家賃	70,000	家賃(かわさき市民活動センター)
諸会費	30,000	
公租公課	1,350,000	消費税、印紙
リース料	210,000	プリンター
手数料	50,000	
雑費	102,000	慶弔、お土産 他
その他経費計	11,526,000	
管理費 計	18,460,000	
経常費用 計 (B)	52,064,000	
税引前当期正味財産増減額(C) = (A) - (B)	70,000	
法人住民税 (D)	70,000	
当期正味財産増減額 (E) = (C) - (D)	0	
前期繰越正味財産額 (F)	32,366,858	
次期繰越正味財産額 (E) + (F)	32,366,858	